

第11回 小児腎不全研究会日程表

9月21日(木)
(第1日目)

14:00	腎炎 14:00~14:32	(1~4)
	ネフローゼ 14:32~14:56	(5~7)
15:00	間質性腎炎 14:56~15:12	(8~9)
	急性腎不全(1) 15:12~15:36	(10~12)
16:00	急性腎不全(2) 15:36~16:08	(13~16)
	症例(1) 16:08~16:32	(17~19)
	症例(2) 16:32~16:56	(20~22)
17:00	泌尿器科疾患 16:56~17:20	(23~25)
	Ca・P代謝 17:20~17:44	(26~28)
17:30	特別講演 「腎不全の病理」 木原 達 17:45~18:35	

19:10 ~ 懇親会

9月22日(金)
(第2日目)

8:30	慢性腎不全(1) 8:30~ 8:54	(29~31)
9:00	慢性腎不全(2) 8:54~ 9:18	(32~34)
	慢性腎不全(3) 9:18 9:42	(35~37)
10:00	エリスロポエチン 9:42~10:06	(38~40)
	CAPD(1) 10:06~10:30	(41~43)
	CAPD(2) 10:30~10:46	(44~45)
11:00	腎移植(1) 10:46~11:10	(46~48)
	腎移植(2) 11:10~11:34	(49~51)
	腎移植(3) 11:34~11:58	(52~54)
12:00	昼食 (幹事会・パネル打合せ)	
	小児腎不全研究会事務局より報告 12:55~13:00	
13:00	教育講演 「逆流性腎症と糸球体硬化」 谷澤 隆 邦 13:00~13:50	
	パネルディスカッション 「小児の腎移植」 司会 長谷川 昭 14:00~16:00	

第1日目（9月21日）

13:55～

開催挨拶

信楽園病院 平 沢 由 平

一般演題 14:00～17:44

・腎 炎 14:00～14:32

座 長 兵庫医科大学 小児科 和 田 博 義

1. 急性腎不全で発症した膜性増殖性糸球体腎炎の一例

新潟市民病院 小児科

渡 辺 徹、佐 藤 雅 久、阿 部 時 也、石 塚 利 江

小 田 良 彦

同 循環器科

森 田 幸 裕、中 野 正 明

県立吉田病院 小児科

高 田 恒 郎

2. RPGNで発症し、血漿交換療法が著効したMPGNの一例

東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 小児科

久保田令子、服 部 元 史、甲 能 深 雪、川 口 洋

伊 藤 克 己

3. IgA腎症の経過観察中シャント腎炎の合併が疑われた一症例

東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 小児科

武田優美子、小 松 康 宏、服 部 元 史、徳 山 雅 俊

鈴木 隆、久保田令子、甲 能 深 雪、川 口 洋

伊 藤 克 己

4. 先天性巨大尿管に膜性増殖性糸球体腎炎を合併し急速に腎不全に陥った一女児例

群馬大学 小児科

島 袋 直 哉、新 井 英 夫、丸 山 健 一、冨 澤 滋

・ネフローゼ 14:32～14:56

座 長 群馬大学 小児科 富 澤 滋

5. 経過中に急性腎不全を合併したネフローゼ症候群の二症例

済生会宇都宮病院 小児科

小 林 靖 明

都立清瀬小児病院

上 山 泰 淳、本 田 雅 敬、長谷川 理、伊 藤 拓

星 長 清 隆、小 川 修、川 村 猛

慶応大学 小児科・病理

森 田 都、坂 口 弘

6. 除水のみで急性腎不全を離脱したネフローゼ症候群の一男児例

筑波大学 小児科

竹 田 一 則、中 原 千 恵 子、田 村 和 喜、嶋 田 知 博

重 田 み どり、小 野 一 郎、滝 田 齋

同 小児外科

越 智 五 平

7. 腎不全に進行した結節性硬化症の一例

聖マリアンナ医科大学 小児科

柴 若 継 雄、三 尾 仁、山 口 義 哉、宮 平 つ ね 子

小 板 橋 靖

大和市立病院 小児科

秋 田 博 伸、小 島 正

・間質性腎炎 14:56～15:12

座 長 神戸大学 小児科 吉 川 徳 茂

8. 短期間に3回の急性腎不全発作をおこした間質性腎炎の一男児例

北里大学医学部 小児科

河 西 紀 昭、北 條 み どり、新 村 文 男、酒 井 糾

9. 小児期急性間質性腎炎の臨床病理学的検討

神戸大学 小児科

吉 矢 邦 彦、八 若 博 司、大 田 国 隆、亀 田 愛 樹

田 中 亮 二 郎、鈴 木 順 子、吉 川 徳 茂、中 村 肇

・急性腎不全(1) 15:12～15:36

座 長 東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 小児科
川 口 洋

10. prostacyclin製剤ならびにthromboxane A₂ inhibitorを投与したHUSの四症例

東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 小児科

鈴木 隆、小松 康宏、徳山 雅俊、服部 元史
甲能 深雪、川口 洋、伊藤 克己

11. 長期意識障害、痙攣等の中枢神経症状を合併し、血漿交換、TRH療法が有効と思われたHUSの一例。

富士市立中央病院 小児科

畑野 秀樹、小池 雄一、河村 研一、瀬尾 究

東京慈恵会医科大学 小児科

臼井 信男

12. 非典型的に発症した溶血性尿毒症症候群の一例

山梨医科大学 小児科

土橋 一重、藤本 昌敏、合井久美子、石原 俊秀
東田 耕輔、朝山 光太郎、雨宮 伸、加藤 精彦

・急性腎不全(2) 15:36～16:08

座 長 東京大学 泌尿器科 阿 曾 佳 郎

13. 急性腎不全を合併し悪性症候群（syndrome malin）と思われた一例

埼玉医科大学 小児科

伊波 潔、森 淳夫、柳沢 久留美、森野 正明

同 第二病理学教室

芝田 敏勝

14. 多臓器不全を呈したCrush Syndromeの一例

静岡県立こども病院 腎臓内科

渡辺 修一郎、高橋 昌里、湊 元志

15. 急性腎不全を合併した神経性食思不振症の一症例

金沢大学 小児科

太田 和秀、大野 一郎、南 聡、瀬野 晶子
加藤 英治、谷口 昂

国立療養所医王病院 小児科

武藤 一彦、梶原 莊平、本家 一也、西川 二郎
金沢大学 第2内科
紺井 一郎、東福 要平

16. 急性腎不全11例の臨床病理学的検討

埼玉県立小児医療センター 腎臓科

村松 康男、及川 剛、片山 章、望月 弘
赤司 俊二

同 病理
宮川 智幸、佐藤 英章

・症例 (1) 16:08~16:32

座長 兵庫医科大学 泌尿器科 生駒 文彦

17. MDS（骨髓異形成症候群）を思わせた難聴を伴う遺伝性腎炎の一例

名古屋第二赤十字病院 小児科

上村 治、後藤 芳充、木村 勝則、岸 真司
石井 睦夫、矢守信昭、張 尚美、山口 信行
岩佐 充二、毛利 篤子、安藤 恒三郎

同 移植外科

打田 和治

名古屋市立大学医学部 小児科

鈴木 敏弘

同 第三内科

両角 國男

守山市民病院 小児科

横井 吉和

18. 腎不全に進行したネフローゼ症候群を合併したウィルムス腫瘍の一例

国立療養所西別府病院 小児科

古瀬 昭夫、古閑 博、森 永信吾

19. 敗血症ショックの治療後に腎静脈血栓症を生じた再生不良性貧血の6歳男児例

茨城県立こども病院 小児科

田村和喜、土田昌宏

筑波大学 小児科

小池和俊

・症例(2) 16:32~16:56

座長

倉敷中央病院 小児科 武田修明

20. 多発性嚢胞腎を合併した Oral-Facial-Digital Syndrome(Type I)の小児腎不全例(本邦初例)

千葉県こども病院 腎臓科

白髪宏司

同 遺伝科

石切山 敏

21. 尿毒症性心筋症が疑われた一例

足利赤十字病院 小児科

御宿百合子、川合宏和、山下行雄、丹羽伊知郎

浅石嵩澄

慶應大学病院 小児科

森田 都、草野正一

都立清瀬小児病院 病理

森川征彦

22. 家族性若年性ネフロン癆の同胞三症例

浜松医科大学 泌尿器科

中野 優、須床 洋、鈴木明彦、牛山知己

畑 昌宏、太田信隆、鈴木和雄、田島 惇

河邊香月

東京大学 泌尿器科

阿曾佳郎

・泌尿器科疾患 16:56~17:20

座 長 都立清瀬小児病院 泌尿器科 川 村 猛

23. 学校検尿発見時、軽度の腎機能障害を呈した逆流性腎症の一例

兵庫医科大学 小児科

辻 野 吉 昭、御 幡 正 子、富 本 康 仁、谷 村 政 典
川 口 真、服 部 益 治、谷 澤 隆 邦、和 田 博 義

同 泌尿器科

趙 秀 一、細 川 尚 三、島 田 憲 次

24. 腎機能障害を伴った小児VUR症例に対する手術的治療の効果

兵庫医科大学 泌尿器科

島 田 憲 次、小 池 宏、細 川 尚 三、生 駒 文 彦

25. 神経因性膀胱に続発した腎機能障害を有する二分脊椎小児症例の臨床的検討

都立清瀬小児病院 泌尿器科

中 井 秀 郎、小 川 修、新 井 兼 司、星 長 清 隆
川 村 猛、

東邦大学 腎センター

長谷川 昭

・Ca・P代謝 17:20~17:44

座 長 信楽園病院 腎センター 鈴 木 正 司

26. 二次性副甲状腺機能亢進症に対するビタミンDパルス療法の試み

東京慈恵会医科大学 小児科

林 良 寛、望 月 弘、片 山 章、臼 井 信 男

27. 小児慢性腎不全患者に対する低リン食の試み

—低リン蛋白粉末および低リンミルクの応用—

東京慈恵会医科大学 小児科

畑 野 秀 樹、羽 鳥 則 夫、望 月 弘、臼 井 信 男

同 栄養科

久保田明美、藤 山 康 弘、中 泉 玉 江

28. 通院中の慢性腎不全児における低タンパク、低リン食の試み

日本女子大学 栄養科

門倉 芳枝

東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 小児科

川口 洋、伊藤 克己

特 別 講 演 17:45～18:35

座 長 信楽園病院 副院長 平 沢 由 平

「 腎 不 全 の 病 理 」

新潟大学腎研 病理形態学教授 木 原 達

終 了 後 懇 親 会

第2日目（9月22日）

一般演題 8:30～11:58

・慢性腎不全(1) 8:30～ 8:54

座長 都立清瀬小児病院 腎内科 伊藤 拓

29. 様々な経過をたどった幼児期慢性腎不全三症例の検討

東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 小児科

徳山 雅俊、小松 康宏、服部 元史、鈴木 隆

甲能 深雪、川口 洋、伊藤 克己

30. 怠薬を契機に腎不全に陥り、透析を必要とした小児SLE腎症の三例

慶応大学病院 小児科

石原 幸宏、森田 都、赤岡 賢治

都立清瀬小児病院 腎内科

長谷川 理、上山 泰淳、本田 雅敬、伊藤 拓

31. 小児腎不全の透析療法導入時期の推定

東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 小児科

鈴木 隆、小松 康宏、久保田 令子、服部 元史

甲能 深雪、川口 洋、伊藤 克己

・慢性腎不全(2) 8:54～ 9:18

座長 北里大学医学部 腎センター 酒井 糾

32. 末期腎不全患者の quality of life（第一報）就学及び就職について

都立清瀬小児病院 看護科

斉藤 敦子、石川 容子、斉藤 正子

同 腎内科

本田 雅敬

同 泌尿器科

星長 清隆

33. 小児透析患者における血清 β_2 -ミクログロブリン値の検討

慶應義塾大学 小児科

赤岡 賢治

都立清瀬小児病院 腎内科

上山 泰淳、本田 雅敬、長谷川 理、伊藤 拓

同 泌尿器科

中井 秀郎、星長 清隆、小川 修、川村 猛

34. 小児期血液透析患者のブラッドアクセスー国立療養所における経験ー

国立療養所腎不全研究会

水野 愛子 (中部病院)、後藤 洋一 (道北病院)

星井 桜子、菅原 宏見 (西札幌病院)

倉山 英昭 (千葉東病院)、京谷 征三 (富山病院)

中村 雄二 (広島病院)、喜多 青三 (東徳島病院)

濱口 武士 (香川小児病院)

・慢性腎不全(3)

9:18~ 9:42

座長

東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 小児科

伊藤 克己

35. 腎不全モデルに対する経口吸着剤AST-120投与の影響に関する研究

ー糸球体血行動態に関する検討ー

済生会横浜市南部病院 小児科

吉田 義幸

北里大学病院 腎センター

酒井 糾

呉羽化学東京研究所

菅野 三喜男、伊勢 道仁、上原 康夫

36. 若令及び高週令ラットにおける腎不全の進行について

ー腎不全摘モデルを用いた検討ー

北里大学 腎センター

新村 文男、酒井 糾

呉羽化学東京研究所

伊勢 道仁、上原 康夫

37. 腎機能低下の程度にみあわない高K血症に関する検討

東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 小児科

小松 康 宏、久保田 令子、服 部 元 史、白 髪 宏 司
川 口 洋、伊 藤 克 己

・ エリスロポエチン 9:42~10:06

座 長 熊本大学 小児科 服 部 新三郎

38. 下顎嚢腫の摘出で貧血の改善をみた一症例

—recombinant erythropoietin(rEPO)の反応性の改善—

北里大学医学部 小児科

北 條 みどり、新 村 文 男、伊 藤 民 恵、飯 高 喜久雄
河 西 紀 昭

同 腎センター

酒 井 糾

39. 小児慢性腎不全児の骨塩量と造血機能—EPOCH投与に対する反応性について

神奈川県衛生看護専門学校附属病院 小児科

片 山 章

埼玉県立小児医療センター 腎臓科

及 川 剛、村 松 康 男、赤 司 俊 二

同 放射線部

松 田 幸 広

40. recombinant human erythropoietin (rHuEpo)に反応不良の貧血で原因として
hypersplenismが考えられた一症例

東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 小児科

小松 康 宏、鈴木 隆、服 部 元 史、甲 能 深 雪
川 口 洋、伊 藤 克 己

・ CAPD(1) 10:06~10:30

座 長 埼玉県立小児医療センター 腎臓科 赤 司 俊 二

41. CAPD患児における腹膜鞘状突起開存から陰部浮腫をきたした5例

都立清瀬小児病院 腎内科

上 山 泰 淳、本 田 雅 敬、長谷川 理、伊 藤 拓

同 泌尿器科

中 井 秀 郎、星 長 清 隆、小 川 修、川 村 猛

42. 生後間もなく鎖肛でColostomyを受けた多臓器奇形を有するCAPD患児

仙台社会保険病院腎センター

石崎 允、鈴木 一之、遠藤 優子、山口 あけみ
加藤 美樹、松本 洋子

東北大学 泌尿器科

太田 章三

43. 鼠径ヘルニア根治術により灌流液漏出の治癒したCAPDの一例

神戸大学 小児科

奥谷 貴弘、伊藤 誠子、八若 博司、太田 國隆
亀田 愛樹、田中 亮二郎、鈴木 順子、吉川 徳茂
中村 肇

同 泌尿器科

安野 博彦、松本 修

・CAPD(2) 10:30~10:46

座 長 都立清瀬小児病院 腎内科 上山 泰淳

44. 学童期CAPD患児の成長と栄養

国立療養所西札幌病院 小児科

星井 桜子、門脇 純一

45. 小児期腎不全におけるCa代謝（第2報）

ーCAPDでの活性型ビタミンD使用量ー

立川共済病院 小児科

増田 英子

都立清瀬小児病院 腎内科

本田 雅敬、上山 泰淳、長谷川 理、伊藤 拓

同 泌尿器科

星長 清隆、小川 修、川村 猛

筑波大学臨床医学系 小児科

中原 千恵子

・腎移植(1) 10:46～11:10

座 長 滋賀医科大学 第一外科 中 根 佳 宏

46. シクロスポリンを投与した小児腎移植患者10例の臨床的検討

北里大学 腎センター

新 村 文 男、熊 野 和 雄、北 條 みどり、飯 高 喜久雄
河 西 紀 昭、酒 井 糾

47. 小児生体腎移植の経験

神戸大学 小児科

八 若 博 司、太 田 國 隆、亀 田 愛 樹、田 中 亮二郎
鈴 木 順 子、吉 川 徳 茂、中 村 肇

同 泌尿器科

安 野 博 彦、松 本 修

48. 1～2才児の腎移植の看護

東邦大学大森病院 3号館 3階病棟

竹 邊 一 美、栗 原 弥 生、富 井 秋 子、西 池 清 美
八 田 成 子

・腎移植(2) 11:10～11:34

座 長 東京女子医科大学腎臓病総合医療センター
外科・泌尿器科 東 間 紘

49. 小児腎移植後の骨成長に関する検討

(Microdensitometer法を中心として)

東邦大学 腎センター

本 山 治、酒 井 謙、相 川 厚、小 原 武 博
林 郁 子、山 口 仁 美、岩 瀬 七 重、伏 見 達 夫
平 田 清 文、長 谷 川 昭

大田総合病院

平 山 順 朗

50. 小児腎移植後患者の成長発育障害について

—human recombinant growth hormone (r-hGH)投与の試み

東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 小児科

川口 洋、服部元史、小松康宏、伊藤克己

同 外科・泌尿器科

高橋公太、東間 紘、太田和夫

同 内分泌内科

高野加寿恵

51. 腎移植後サイクロスポリン服用中の母体より出生した新生児の二例

浜松医科大学 小児科

古川信子、鈴木克好、藤井裕治、五十嵐良雄

浜松医療センター 小児科

増井博行

浜松医科大学 泌尿器科

石過孝文、上田大介、太田信隆、田島 惇

河邊香月

東京大学 泌尿器科

阿曾佳郎

・腎移植(3) 11:34~11:58

座長 社会保険中京病院 泌尿器科 大島伸一

52. 移植後早期廃絶をきたした小児腎移植の二例

広島大学 第二外科

福田康彦、島谷邦彦、松阪知恒、矢野健次

杉野圭三、丸林誠二、小野栄二、八幡 浩

浅原利正、土肥雪彦

53. 腎移植後FGS再発小児例に対する血漿交換療法の試み

東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 小児科

服部元史、川口 洋、林原 博、甲能深雪

伊藤克己

同 外科・泌尿器科

高橋公太、寺岡 慧、東間 紘、阿岸鉄三

太田和夫

54. 移植腎におけるFSGS再発機序の検討

神戸大学 小児科

田中亮二郎、八若博司、太田國隆、亀田愛樹

鈴木順子、吉川徳茂、中村 肇

同 泌尿器科

安野博彦、松本 修、守殿貞夫

教 育 講 演 13:00～13:50

座 長 富山医科薬科大学 小児科教授 岡 田 敏 夫

「逆流性腎症と糸球体硬化」

兵庫医科大学 小児科助教授 谷 澤 隆 邦

パネルディスカッション 14:00～16:00

「小児の腎移植」

司会 東邦大学大森病院腎臓学研究室 長谷川 昭

演 者

東 邦 大 学 腎臓学研究室
清 瀬 小 児 病 院 泌尿器科
東京女子医科大学 泌尿器科
社会保険中京病院 小児科
北 里 大 学 泌尿器科
県 立 吉 田 病 院 小児科

小 原 武 博
小 川 修
高 橋 公 太
都 築 一 夫
遠 藤 忠 雄
高 田 恒 郎
(順不同)

16:00～

閉 会 の 辞

特 別 講 演

腎不全をきたす疾患の病理

新潟大学医学部 腎研究施設

木原 達

慢性腎不全は糸球体硬化の進行によってネフロン数の減少が起こるためといえる。進行性腎障害研究班での経験、小児腎生検908例の観察から、3疾患群で糸球体硬化のプロセスにつき述べる。

1. 膜性増殖性糸球体腎炎の組織学検討：経過良好群と不良群の比較

平均8年の経過観察を行った61例をCCrをもとにして、接続良好群30、改善群8、接続不良群7、悪化群16例に分け、組織変化を比較した。その結果 1) 経過不良群は良好群よりも糸球体メサンギウム基質の増加、尿細管萎縮、間質量が有意に高い。 2) 悪化群は接続良好群よりも糸球体半月、癒着が有意に多い。 3) 20才を境にして年齢別にみると ①細胞増加は20才以下の不良群で有意に高い。 ②半月体、癒着は良好群、不良群とも20才以上に有意に多い。 4) 基質増加の程度と経過期間をみると、①生検時の腎機能がよいものでも、メサンギウム基質が増加している例は5～10年で腎機能が低下しやすい。 ②生検時の腎機能が悪いものでも基質増加の少ない例は、5年以内に腎機能改善をもたらしやすい。

2. アルポート症候群の病理

自験例9例（男児7、女児2）のうち男児4例は現在透析中である。男児生検検体10を電顕で検討したところ、現在9検体に新鮮なものから陳旧性のものまで含めて、糸球体基底膜の断裂が認められた。女児3検体には断裂がなかった。断裂とその不完全な修復が糸球体硬化に結びつく可能性を論じたい。

3. 巣状糸球体硬化症の進展様式

小動物では糸球体上皮細胞は分裂しえないのではないかと考えられる実験成績から、巣状糸球体硬化症、腎低形成の糸球体硬化のプロセスに関する私見を述べる。